

令和6年度 第7次瑞浪市総合計画の分野ごとの進捗について

まちづくりの基本方針		1. 人・未来を育むまちづくり			
分野	(1) 子育て支援	(2) 就学前教育・学校教育	(3) 生涯学習	(4) 生涯スポーツ	
分野の達成状況	B	A	C	B	
構成事業の状況	目標値を達成した事業数7事業	目標値を達成した事業数15事業	目標値を達成した事業数1事業	目標値を達成した事業数3事業	
	目標値の7割以上達成した事業数3事業	目標値の7割以上達成した事業数1事業	目標値の7割以上達成した事業数7事業	目標値の7割以上達成した事業数0事業	
	目標値の5割以上達成した事業数2事業	目標値の5割以上達成した事業数0事業	目標値の5割以上達成した事業数1事業	目標値の5割以上達成した事業数0事業	
	目標値の3割以上達成した事業数0事業	目標値の3割以上達成した事業数0事業	目標値の3割以上達成した事業数0事業	目標値の3割以上達成した事業数2事業	
	目標値の3割に満たなかった事業数0事業	目標値の3割に満たなかった事業数0事業	目標値の3割に満たなかった事業数0事業	目標値の3割に満たなかった事業数0事業	
主な内容 (目標達成)	【子ども・子育て推進事業】 こども家庭センターを設置し、妊娠期から子育て期において切れ目のない支援を充実させました。 【子ども食堂運営支援事業】 令和6年度は、1団体が概ね月1回、子ども食堂を開催しました。開催毎に、リピーターを含め常時10～20人の利用があり、目標値を達成できました。	【小学校・中学校ICT支援員派遣事業】 プログラミング授業の教材の活用や補助、端末機器の使い方、データ集計等様々な面で効果的な業務遂行につながりました。 【コミュニティ・スクール推進事業】 令和3年度から順次、学校運営協議会を設置していき、令和6年度には市内全小中学校がコミュニティ・スクールを導入しました。	【地区公民館施設整備事業】 大湫公民館施設（外壁・屋根・トイレの改修、照明のLED化、空調設備の更新等）の改修を実施しました。	【瑞浪市民テニスコートメンテナンス事業】 目砂散布やブラッシングを行うことにより整地を行い、長寿命化を図るための定期メンテナンスを実施しました。 【市民体育館施設改修事業】 約1年間という長期の閉館を伴う大規模改修でしたが、代替施設とした学校や多くの利用団体等の協力を得ることで事業が完了しました。	
主な内容 (目標未達成)	【早期療育支援事業】 利用者数の伸び悩みがあり、事業周知を工夫する必要があります。 【ひとり親家庭学習支援事業】 中学卒業による退所者が多かったこと、対象児童の減少に伴い、新規利用者が見込みを下回ったことにより、目標値を達成することができませんでした。	【スクールサポートスタッフ配置事業】 スクールサポートスタッフは短時間勤務であり、学校によっては担い手が見つからないことが課題です。	【地区公民館運営経費（指定管理）】 自主グループの活動が停滞し、施設の稼働率が下がったことから利用促進を図ることが全館共通の課題です。	【全国健康福祉祭ぎふ大会開催事業】 パウンドテニスは、32チームの参加を予定していましたが、14チームの参加となったため達成できませんでした。開催の機運醸成を図るための効果的な広報が足りませんでした。	
分野	(5) 文化・芸術・文化財	(6) 人権尊重社会			
施策の達成状況	A	B			
構成事業の状況	目標値を達成した事業数7事業	目標値を達成した事業数2事業			
	目標値の7割以上達成した事業数1事業	目標値の7割以上達成した事業数1事業			
	目標値の5割以上達成した事業数1事業	目標値の5割以上達成した事業数0事業			
	目標値の3割以上達成した事業数0事業	目標値の3割以上達成した事業数0事業			
	目標値の3割に満たなかった事業数0事業	目標値の3割に満たなかった事業数0事業			
主な内容 (目標達成)	【中央公民館自主事業】 市制70周年記念の年であったため、自主事業7公演、ホワイエコンサート4公演と例年より多く開催しました。 【こいのぼり祭事業】 瑞浪北中学校ジュニアプラスバンドクラブの演奏など市民参加型とすることで、約3,300人が来場しました。	【人権施策推進指針策定事業】 第2次瑞浪市人権施策推進指針の見直しに向けて、市民意識調査を実施し、瑞浪市人権施策推進審議会を設置しました。 【人権施策推進経費】 人権書道展、「ちょっといい話14」募集・冊子作成、人権講演会参加者数、人権啓発冊子配布について、小中学校を中心に募集したことで多くの応募者数がありました。			
主な内容 (目標未達成)	【三番叟開催事業（「清流の国ぎふ」文化祭2024）】 伝統芸能として三番叟にテーマを絞った他に類をみない企画としましたが、観覧者数は伸び悩みました。	【男女共同参画社会推進経費】 女性が地域における重要事項の決定過程へ参画し、地域活動の主体的な担い手となることで、多様な発想や活動の活性化を図るため、継続して地域へ向けた啓発が必要です。			

令和6年度 第7次瑞浪市総合計画の分野ごとの進捗について

まちづくりの基本方針		2. 魅力あふれるまちづくり		
分野	(1) シティプロモーション	(2) 協働のまちづくり	(3) 住環境	(4) まちなみ
分野の達成状況	A	A	B	A
構成事業の状況	目標値を達成した事業数3事業	目標値を達成した事業数5事業	目標値を達成した事業数11事業	目標値を達成した事業数2事業
	目標値の7割以上達成した事業数0事業	目標値の7割以上達成した事業数1事業	目標値の7割以上達成した事業数1事業	目標値の7割以上達成した事業数0事業
	目標値の5割以上達成した事業数0事業	目標値の5割以上達成した事業数0事業	目標値の5割以上達成した事業数1事業	目標値の5割以上達成した事業数0事業
	目標値の3割以上達成した事業数0事業	目標値の3割以上達成した事業数0事業	目標値の3割以上達成した事業数2事業	目標値の3割以上達成した事業数0事業
	目標値の3割に満たなかった事業数0事業	目標値の3割に満たなかった事業数0事業	目標値の3割に満たなかった事業数1事業	目標値の3割に満たなかった事業数0事業
主な内容 (目標達成)	<p>【地場産品ブラッシュアップ事業】</p> <p>名古屋ラシックにて、3年間で監修したすべての地場産品について催事販売を実施し、多くのメディアに取り上げられました。本事業を実施してからふるさと納税寄附額は右肩上がりで、効果はあったと評価します。</p> <p>【市制70周年記念事業】</p> <p>当日のきなあつ瑞浪の来場者数は、令和6年度で最多の4,037名を記録し、特産品である「瑞浪ポーノパーク」の認知拡大に寄与しました。また、イベントの準備片付け等を業務委託することで職員の省力化を図りました。</p>	<p>【集落支援経費】</p> <p>集落支援員向けにチラシ等のデザインを簡単に作成できるオンラインツールの研修を実施し、スキルアップを図りました。</p> <p>【夢づくり地域交付金事業】</p> <p>8地区、13分野において通常事業37事業を実施しました。また、日吉町においてステップアップ事業が実施されました。</p>	<p>【空き家等改修補助事業】</p> <p>空き家バンクの成約件数の増加に伴い、本補助制度の利用希望者が増加し、制度が始まって以来、最も多い年間8件の利用がありました。</p> <p>【耐震診断促進事業】</p> <p>実施件数は能登半島地震の影響により増加傾向にあります。各種フェスティバルなど対面での啓発活動が効果的であることから、今後も継続して行います。</p>	<p>【景観形成事業】</p> <p>地域と一緒に、大湫地区の景観計画重点区域指定を進めています。重点区域指定に向け、内容の調整や地域の気運の醸成を継続して行います。</p> <p>【屋外広告物管理事業】</p> <p>市街地中心部における屋外広告物掲出調査及び更新など、申請案件の適正管理を実施しました。また、広告物未許可案件については、所有者等に個別訪問を実施し、許可件数の増加に努めました。</p>
主な内容 (目標未達成)	—	<p>【域学連携推進事業】</p> <p>域学連携推進交付金を活用する学生グループが立ち上がらない学校もあるため、改めて制度を周知し、活用を促す必要があります。</p>	<p>【子育て世帯等移住促進奨励金交付事業】</p> <p>令和6年度からの新規事業であり、制度の周知が不足しています。本事業が移住のきっかけとなるよう、情報発信の強化や周知方法を工夫する必要があります。</p> <p>【耐震補強工事補助事業】</p> <p>高齢者世帯の増加により、住宅の将来が見通せず、耐震化に躊躇する事例があります。広報等での啓発活動に加え、耐震診断の実施者に対し、ダイレクトメールでの啓発を行います。</p>	—
分野	(5) 情報共有			
施策の達成状況	A			
構成事業の状況	目標値を達成した事業数5事業			
	目標値の7割以上達成した事業数0事業			
	目標値の5割以上達成した事業数1事業			
	目標値の3割以上達成した事業数0事業			
	目標値の3割に満たなかった事業数0事業			
主な内容 (目標達成)	<p>【議会映像配信事業】</p> <p>録画映像の視聴数は例年水準でしたが、ライブ中継の視聴数が前年比2.5倍増となり、目標値を達成しました。</p> <p>【市民アンケート実施事業】</p> <p>令和4年度から開始したインターネット回答について、令和6年度の回答率が令和5年度の9%から17.9%と増加したことが目標値達成の一因と考えます。</p>			
主な内容 (目標未達成)	<p>【広報広聴活動経費】</p> <p>どの年代にもわかりやすい広報紙を作成する必要があり、紙面構成のリニューアルを検討します。また、媒体（紙、デジタル等）についても年代でニーズが違うため、その傾向を把握します。</p> <p>地域懇談会については、幅広い年代の参加が理想ではありますが、参加者の固定化が課題です。開催日時、内容、周知方法を工夫します。</p>			

令和6年度 第7次瑞浪市総合計画の分野ごとの進捗について

まちづくりの基本方針		3. 生涯活躍のまちづくり			
分野	(1) 地域福祉・社会保障	(2) 健康・医療	(3) 障がい者福祉	(4) 高齢者福祉	
分野の達成状況	B	C	C	B	
構成事業の状況	目標値を達成した事業数 3事業	目標値を達成した事業数 2事業	目標値を達成した事業数 1事業	目標値を達成した事業数 7事業	
	目標値の7割以上達成した事業数 3事業	目標値の7割以上達成した事業数 8事業	目標値の7割以上達成した事業数 1事業	目標値の7割以上達成した事業数 5事業	
	目標値の5割以上達成した事業数 0事業	目標値の5割以上達成した事業数 1事業	目標値の5割以上達成した事業数 1事業	目標値の5割以上達成した事業数 1事業	
	目標値の3割以上達成した事業数 0事業	目標値の3割以上達成した事業数 0事業	目標値の3割以上達成した事業数 0事業	目標値の3割以上達成した事業数 0事業	
	目標値の3割に満たなかった事業数 0事業	目標値の3割に満たなかった事業数 0事業	目標値の3割に満たなかった事業数 1事業	目標値の3割に満たなかった事業数 0事業	
主な内容 (目標達成)	【市民福祉センター運営経費（指定管理）】 福祉まつりなどのイベントや介護者サロン等、行事に参加しやすい環境づくりや工夫を実施しました。コロナ禍で落ち込んだ利用者数について、前年度との比較では鈍化していますが、回復傾向で、新規利用団体もありました。	【地域医療確保補助事業】 東濃厚生病院にて、放射線読影医の確保、人材育成に注力していただき、画像診断に関する医療の質を維持しています。	【基幹相談支援センター等運営経費】 相談員の人材不足や相談事案の複雑化等に伴い、受託事業所の負担感が年々増している状況ですが、毎月開催している東濃基幹相談支援センター運営会議において、情報共有やネットワーク構築に努めることで、現状の相談支援体制を維持できています。	【在宅医療連携推進事業】 専門職を対象とした研修会及び多職種連携会議を実施し、多職種のネットワーク強化に努めました。 【認知症サポーター等養成事業】 もの忘れ相談、認知症カフェ、普及啓発活動、SOSネットワーク事業を行いました。また、認知症地域支援推進員連絡会を実施し、地域包括支援センターの認知症地域支援職員との連携を図りました。	
主な内容 (目標未達成)	【生活困窮者自立支援経費】 価格高騰等で今後も困窮者相談は増加すると想定されます。今後も関係機関で制度の周知を図り、プラン作成が必要な対象者を見極めます。	【結核予防経費】 受診率が低下傾向にあります。対象者が高齢であり、免許返納等により交通手段がない方もいることから、引き続き地区への巡回が必要です。 【風しん対策事業】 接種率が低い要因は、これから生まれてくる子どもたちを守るための予防接種であるという要素が強かったため、その時のライフステージに左右されたと想定します。	【障害者デイサービスセンター運営経費（指定管理）】 利用者数の改善は、周知先を拡大する等の対策により前年度比66名増となりましたが、コロナ禍前の水準には達していません。 【障害者いきいき住宅改善助成事業】 令和元年度以降、助成申請がありません。	【老人憩いの家管理経費(指定管理)】 自家用車を運転できない高齢者も増えており、移動手段が無いことが利用者の減少に影響していると思われます。複合化の時点で事業の取りやめを含めた検討が必要です。 【地域宅老所補助事業】 利用者の重度化、入所等により、利用者が減少しています。	
分野					
施策の達成状況					
構成事業の状況					
主な内容 (目標達成)					
主な内容 (目標未達成)					

令和6年度 第7次瑞浪市総合計画の分野ごとの進捗について

まちづくりの基本方針		4. 活気みなぎるまちづくり						
分野	（１） 農林業		（２） 畜産業		（３） 商業		（４） 工業	
分野の達成状況	B		B		C		C	
構成事業の状況	目標値を達成した事業数	8事業	目標値を達成した事業数	1事業	目標値を達成した事業数	1事業	目標値を達成した事業数	1事業
	目標値の7割以上達成した事業数	3事業	目標値の7割以上達成した事業数	1事業	目標値の7割以上達成した事業数	3事業	目標値の7割以上達成した事業数	2事業
	目標値の5割以上達成した事業数	1事業	目標値の5割以上達成した事業数	0事業	目標値の5割以上達成した事業数	2事業	目標値の5割以上達成した事業数	3事業
	目標値の3割以上達成した事業数	0事業	目標値の3割以上達成した事業数	0事業	目標値の3割以上達成した事業数	1事業	目標値の3割以上達成した事業数	0事業
	目標値の3割に満たなかった事業数	3事業	目標値の3割に満たなかった事業数	0事業	目標値の3割に満たなかった事業数	0事業	目標値の3割に満たなかった事業数	1事業
主な内容 （目標達成）	【災害防止森林整備事業（国版森林環境税）】 危険木伐採事業費補助金事業において、交付件数は12件、5,556千円を交付しました。 【県営事業負担金事業(県営ため池等整備事業)】 岩倉大ため池の耐震化工事と西洞、羽根、検丈下ため池の廃止工事を実施しました。		【家畜自衛防疫強化促進事業】 事業を適正に実施し、H30年度に発生した豚熱以降、特定家畜伝染病は発生していません。		【地域交流センター管理運営経費(指定管理)】 指定管理者によって適切な維持管理がなされ、施設の利用者数と稼働率は高く保たれています。ニーズに基づいて開設している指定管理者の自主事業により、参加者の満足度および利用者数が向上しています。		【産業振興センター改修事業】 更新時期となったキュービクル内の引込ケーブル等の改修工事を実施しました。	
	【有害鳥獣被害防止対策事業】 捕獲や防護柵等の対策を実施をしているにも関わらず、被害は横ばい・増加傾向となっています。個体数が増えていると考えられるので、捕獲による対策を促進します。		【家畜性判別胚供給事業】 移植対象牛が予定より少なかったため、目標値を下回りました。		【小規模事業者経営改善資金融資等利子補給事業】 マル経融資利子補給件数は増加しているものの、依然として低調です。また、衛経融資の申請はなく、制度の認知度の低さが課題です。 【瑞浪ポーノパーク取扱店PR事業】 取扱店の中で、活動に対する意識や取組状況に差が見られます。取扱店が一体となって事業を推進できるよう、ポーノパークPR委員会による働きかけが必要です。		【産業振興センター施設管理経費(指定管理)】 貸館の利用者は固定客が多く、新規の利用者を増やすことが課題です。 【中小企業販路開拓支援事業】 例年、展示会・見本市の出展事業のみと事業内容が形骸化しているため、出展事業以外の新たな販路開拓の切り口が必要です。	
分野	（５） 観光		（６） 市民生活					
施策の達成状況	A		C					
構成事業の状況	目標値を達成した事業数	7事業	目標値を達成した事業数	0事業				
	目標値の7割以上達成した事業数	1事業	目標値の7割以上達成した事業数	0事業				
	目標値の5割以上達成した事業数	1事業	目標値の5割以上達成した事業数	0事業				
	目標値の3割以上達成した事業数	0事業	目標値の3割以上達成した事業数	2事業				
	目標値の3割に満たなかった事業数	1事業	目標値の3割に満たなかった事業数	0事業				
主な内容 （目標達成）	【自然ふれあい館管理経費(指定管理)】 施設の設置目的に新たに加わった観光振興に関する事業（ホテル観賞会、紅葉ライトアップ、クライミング）を実施し、入館者が増加しました。 【観光コンテンツ造成事業】 新規事業者を加えた計20事業者による体験型コンテンツを造成しました。また、新たにPR動画等を制作し、市内外へのPR活動を実施しました。		—					
	【地域活性化施設等整備基金積立金】 市ホームページ等による情報発信は行っていましたが、制度の周知が十分でなく、令和6年度の活用件数は0件でした。制度の周知方法の見直しが課題です。		【合同企業説明会開催事業】 対面で直接企業から情報を伝えられる点で有効ですが、雇用件数増加に繋がっていません。参加者が進路決定直前の生徒に偏っていることから、高校在学者、一般求職者全体に対して参加を促す必要があります。					

令和 6 年度 第 7 次瑞浪市総合計画の分野ごとの進捗について

まちづくりの基本方針		5. 持続可能なまちづくり						
分野	（１） 循環型社会		（２） 環境保全・エネルギー		（３） 道路・河川		（４） 上下水道	
施策の達成状況	A		C		A		B	
構成事業の状況	目標値を達成した事業数	4事業	目標値を達成した事業数	1事業	目標値を達成した事業数	14事業	目標値を達成した事業数	8事業
	目標値の7割以上達成した事業数	0事業	目標値の7割以上達成した事業数	0事業	目標値の7割以上達成した事業数	1事業	目標値の7割以上達成した事業数	4事業
	目標値の5割以上達成した事業数	0事業	目標値の5割以上達成した事業数	2事業	目標値の5割以上達成した事業数	0事業	目標値の5割以上達成した事業数	0事業
	目標値の3割以上達成した事業数	0事業	目標値の3割以上達成した事業数	1事業	目標値の3割以上達成した事業数	0事業	目標値の3割以上達成した事業数	0事業
	目標値の3割に満たなかった事業数	1事業	目標値の3割に満たなかった事業数	0事業	目標値の3割に満たなかった事業数	0事業	目標値の3割に満たなかった事業数	0事業
主な内容 （目標達成）	【混合焼却施設設備改修事業】 施設整備計画に基づき、工事を実施しました。令和１９年度供用開始予定の東濃西部３市ごみ焼却施設開場に向けての協議を進めています。 【一般廃棄物(ごみ)処理基本計画策定事業】 社会情勢の変化や実績等による変更を反映させるため、第1次中間見直しを実施しました。		【斎場設備整備事業】 R3～7にかけて人体炉3基と動物炉1基のオーバーホールを実施しました。設備や施設の損耗状況に応じて、長期的な視点で修繕等を実施します。		【電源立地地域対策交付金事業】 陶町大川希望ヶ丘の側溝改良を実施しました。側溝の蓋無し施工区間があったため、施工延長を延ばすことができました。		【内水浸水被害対策事業】 浸水シミュレーションを実施しました。瑞浪市の雨水事業計画区域内の浸水想定区域を把握することができました。 【農業集落排水統合事業】 月吉クリーンセンター跡地の残土搬出を実施することで、月吉マンホールポンプ場としての利用が可能となりました。	
	【産業廃棄物リサイクル推進施設整備補助事業】 不燃物最終処分場の延命化を図るため、埋立量の減量化は喫緊の課題です。産業廃棄物である陶磁器くずの処理について、陶磁器業界とも協議しながら、処分場持込量の停止に向けて、排出事業者における処分を検討する必要があります。		【エネルギー利用最適化事業】 本市の太陽光発電の再生可能エネルギー導入ポテンシャルに対する最新の再エネ導入割合は23.0％となっており、再生可能エネルギーの導入余地がまだ多く残されています。		【南垣外北野線道路改良事業】 用地交渉が部分的に難航している箇所があります。リニア中央新幹線日吉トンネルと近接しており、車両、地元調整が必要です。用地協力が得られない箇所があったこと、通行止めによる迂回路確保の問題により、改良延長を延ばすことができませんでした。		【水道老朽施設更新事業(アセットマネジメント)】 老朽化および漏水の多発している管路が増える一方、国からは鋳鉄管の更新も求められています。布設替えの対象路線の選定が課題です。	
分野	（５） 公共交通		（６） 消防・防災		（７） 防犯・交通安全		（８） 行財政運営	
施策の達成状況	C		A		C		B	
構成事業の状況	目標値を達成した事業数	2事業	目標値を達成した事業数	11事業	目標値を達成した事業数	1事業	目標値を達成した事業数	3事業
	目標値の7割以上達成した事業数	5事業	目標値の7割以上達成した事業数	0事業	目標値の7割以上達成した事業数	2事業	目標値の7割以上達成した事業数	1事業
	目標値の5割以上達成した事業数	0事業	目標値の5割以上達成した事業数	0事業	目標値の5割以上達成した事業数	2事業	目標値の5割以上達成した事業数	1事業
	目標値の3割以上達成した事業数	0事業	目標値の3割以上達成した事業数	0事業	目標値の3割以上達成した事業数	0事業	目標値の3割以上達成した事業数	0事業
	目標値の3割に満たなかった事業数	0事業	目標値の3割に満たなかった事業数	0事業	目標値の3割に満たなかった事業数	0事業	目標値の3割に満たなかった事業数	1事業
主な内容 （目標達成）	【釜戸駅乗車券発売委託経費】 乗車回数は、R5年度と比較し微増しました。釜戸町まちづくり推進協議会へ乗車券類の販売業務を委託することで釜戸駅を完全無人化とせず、利用促進及び荒廃防止に繋がりました。 【コミュニティバス運行事業】 市内9路線のコミュニティバスを運行しました。利用回数は、増加傾向にあります。瑞浪市地域公共交通協議会にて利用者アンケート及び地元要望等に基づいて運行内容を協議し、見直しを行うなど利便性の向上を図っています。		【地域防災活動支援事業】 防災リーダー養成講座を実施し、防災リーダー・防災士を養成しました。受講者の募集は、広報みずなみやホームページの他、区長会等に周知を行いました。 【防災訓練実施事業】 区長会等に周知を行い、地区28回、福祉施設等1回、教育関係7回、その他各種団体等6回と合計42回（参加者1,596人）の防災訓練を実施しました。		【防犯機能付き電話機等購入補助事業】 広報やホームページに掲載して周知を行い、区長会等で事業説明を実施しました。また、市内の電器店（量販店を含む）には、事業周知と協力依頼を行いました。		【議会タブレット端末導入事業】 すべての会議でタブレット端末を使用しており、業務の効率化、紙の使用の大幅削減などが実現できました。 【書かない窓口機器導入事業】 顔認証付きカードリーダーの導入を完了し、市民課の申請書類発行に利用しています。読取するカードの種類にもよりますが、これまで来庁者の方が記入していた事項について、大部分を印字済で用意できるため、好評を得ています。	
	【デマンド型交通運行事業】 日吉・明世ルートと大湫・日吉東部ルートは、稼働率30％を下回り、補助金の要件を満たしていないことが課題です。補助金の対象となった釜戸ルートも30％を下回る月が増えていきます。また、令和7年10月よりコミュニティバス陶線をデマンド交通に転換することから、デマンド交通の全4ルートを積極的に周知し、利用促進を図る必要があります。		—		【防犯灯設置促進事業】 設置対象とならない申請や設置不可により工事ができない事例もあることから、各地区の設置状況等に応じた十分な説明や周知に加え、事前の確認・調査が必要です。 【防犯カメラ設置促進事業】 各地区の区長会にて事業説明を行っていましたが、防犯カメラの設置条件、設置後の管理があること等で申請に至らなかったと推測します。		【証明書交付機導入事業】 来庁された方は、これまでと同様に直線的に窓口へ証明書の交付手続に来られる方が多く、マルチコピー機の利用者数が伸び悩んでいます。メリットを端的に表示した掲示物などによる誘導が必要です。	